

# 県協連ニュース

145

発行責任者 須藤行彦 東京都足立区千住橋戸町 11-15 TEL 03 (3870) 2476・5570 FAX 03 (3870) 6307



第24回県協連総会で議長を務めた奥山副会長

## 11月21日～22日の 県協連全国総会・労大総会は延期します

総会予定						
県	協	代	表	者	会	議
20	21	年	3	月	6	日
第25	回	全	国	総	会	
		3	月	6	日	～7日
第17	回	労	大	総	会	
		3	月	7	日	午後

## 第25回全国総会は3月に延期へ

厳しい情勢だが、年間の総括を持ち寄り次への一步を踏み出す方針を

労働大学まなぶ友の会県協連絡会議  
副会長 奥山 信義

環境庁は10月9日、観光支援事業「Go To トラベル」運営事務局の事務局長ら64人に対して、一人当たり日額6万9800円を概算で支払ったことを明らかにした。過日の経産省から電通への委託費問題と同じく、大企業への大盤振る舞い・税金の無駄遣いだ。

10月からの全国加重最低賃金は901円、非正規労働者2165万人の平均年収は175万円、正社員503万円の35%にとどまっている。「同一労働・同一賃金」が謳われながら実態は低賃金が押し付けられている。さらにはコロナ禍の解雇・雇止め者数は厚労省発表でも6万5121人（10月9日）実数は10万人超えといわれている。日本は解雇自由社会・貧困大国なのか。

こうした貧困をなくすために政府が一人月7万円を支給する一方、生活保護費や年金を廃止して財源に充てるといふ竹中

平蔵 BI 論には“弱者切り捨てだ”と怒りの声が上がっている。彼こそが小泉政権時に、郵政民営化や規制緩和を進め、弱肉強食の新自由主義を定着させた人物ではないか。このような人物を重用する菅政権の「自助、共助、公助」と自己責任論は重なり合う。年金、医療、社会保障の充実と全国一律最低賃金1500円が究極のセーフティネットだ。

さて、全国のまなぶの仲間の皆さん、今年は、非常事態宣言発令により、全国交流集会開催は断念せざるを得ませんでした。第一学習会開催すら困難な状況にありましたが、打開に向けての友の会員の努力で持ち直しつつあります。しかし、コロナ感染拡大の収束が見えず、11月の全国総会は3月に延期することとなりました。

厳しい情勢下ではありますが、年間の総括を持ち寄り次への一步を踏み出す方針を確立しましょう。

# コロナ感染拡大収束せず、全国総会は延期

県協連事務局長 高原 敏朗

今回、新型コロナウイルス感染が世界では10月29日、4452万人と感染が急拡大し、欧州では急激に感染が広がり、都市封鎖が次々と発表されています。東京都も連日200人超えでしたが、11月2日、東京は87人と減りましたが、北海道では、東京より多い96人と寒くなると感染拡大になる傾向が顕著になってきています。

このような収束していない中、11月に第25回県協連総会を敢えて行うのは感染リスクが多いといえるので、全国四役オンライン会議を去る10月30日行い、延期することを申し合わせましたのでご報告いたします。

全国総会は別添の議案諸日程は次頁にも添えましたが、来年2021年の3月県代を総会に充てることとしました。概していえば、3月5日四役、運営委、6日県代、第25回県協連総会を7日午前中、7日午後からは、労働大学運営委、第17回労働大学総会となります。

しかし、感染拡大が収束しなければ3月開催も危ぶまれます。この判断は、来年1月初旬の9日土曜か10日日曜日に四役オンライン会議を開く、総会開催の可否を決めていきたいと思っております。休暇取得の関係で2カ月前には判断しなければならないからです。開催を再度見送ることになる

ようでしたら、改めて相談したいと思いません。今の状況ではそれ以上申し上げられませんのでご了承下さい。

なお、このことは2020年11月4日県協連通達NO14号、並びにこの県協連ニュースNO145号・2020年11月1日発刊として全国役員及び県代の方々にもお知らせします。

以下、来年度の日程を添付しましたので、お改め下さい。

更には、本総会の意義と課題が須藤行彦会長から明らかにされていますので紹介します。

なお、来年の第26回全国交流集会現地実行委員会から『筑波嶺』NO2号が発刊されていますので、7P～8Pに添付しましたので併せて一読下さい。

\*新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、リモート会議も検討します。

## 2020年度の機関会議・諸活動日程（改定案）

年	月	日	曜日	時間	内容
2021	3	5	金	10時～12時	全国四役会議
				13時～19時	全国運営委員会
		6	土	9時～11時半	全国運営委員会
				13時半～14時	県代表者会議
		7	日	14時～19時半	第25回県協連総会
				10時～11時半	第25回県協連総会
				13時～13時45分	労働大学運営委員会
				14時～15時45分	第17回労働大学総会
	5	14	金	10時～11時半	全国四役会議
				13時～18時	全国運営委員会及び現地実行委員会
		15	土	9時～12時	現地実行委員会
				13時～21時半	第26回全国交流集会
		16	日	9時～12時	第26回全国交流集会
	7	9	金	10時～12時	全国四役会議
				13時～19時	全国運営委員会
		10	土	9時～12時	全国運営委員会
				13時～14時	労働大学運営委員会
				14時～16時	企画編集委員会
		11	日	10時～16時	労働大学中央講座第6期①回
	9	10	金	10時～12時	全国四役会議
				13時～19時	全国運営委員会
		11	土	9時～12時	全国運営委員会
				13時～14時	労働大学運営委員会
				14時～16時	企画編集委員会
		12	日	10時～16時	労働大学中央講座第6期②回
	10	16	土	10時～17時	全国四役会議
				23	土
		24	日	現地三池	同上
	11	19	金	10時～12時	全国四役会議
				13時～19時	全国運営委員会
		20	土	9時～11時30分	全国運営委員会
				13時30分～14時	県代表者会議
				14時～19時半	第26回全国総会
		21	日	10時～11時半	第26回全国総会
				13時～13時45分	労働大学運営委員会
				14時～15時45分	労働大学第18回総会

## コロナ禍の差別と、

### むき出しの資本主義

2020年はオリンピックの年としてスタートしましたが、世界的な新型コロナ感染拡大で1年延期になり、現時点でも開催そのものが危ぶまれています。私たちの運動にも多大な影響が出ており、全国交流集会開催を断念し、全国的な諸会議も中止を余儀なくされ、各友の会の機関紙交流、オンライン会議等をつないできました。

今日の状況を生み出したのは、資本の無限の膨張運動が、地球の隅々までを「開発」し生態系を変えていくことで、気候変動問題や新型感染症拡大を必然的に生じさせてきました。

グローバルなパンデミック対策には、人類の国際的協調が不可欠であるにもかかわらず、この間の自国第一主義、社会排外主義がのさばりはびこる中で、失政の責任を他国に転化する政治と経済にわたる分断と反目が強まっています。

コロナ禍で、資本のあくなき利潤追求は、格差拡大、弱肉強食の新自由主義の本質を露わにしていますが、アメリカの人種差別への抗議行動・BLM運動（ブラック・ライブ・マター）が怒りをもって世界的に拡大しています。

新型コロナウイルスによるパンデミックは、資本主義に歴史的なショックをもたらしています。以前から既に景気の下降局面に入っていました。ロックダウンをともなう大規模な移動と営業の制限で、一挙に世界同時不況・恐慌の様相となっています。

7月17日に内閣府が公表した国内総生産（GDP）は、実質で前期比7.8%減、年率換算では27.8%減という驚くべき状況になっています。「100年に1度の危機」とも言われたリーマン・ショック後の09年の年率17.8%減を大きく上回り、事実上、戦

後最悪の落ち込みです。政府が消費喚起の切り札として、強行実施した「Go To キャンペーン」も混乱続きで、結果、感染拡大を全国に広め、非正規労働者をはじめ失業者の拡大、企業閉鎖、倒産へと追い込む状況を作り出しています。

### 国会を軽視し、無責任な逃亡

2019年10月からの消費税10%への不公平増税がスタートし、アメリカ追従の経済政策が進められ、一方で、政府・自民党は、憲法違反の敵基地攻撃能力保有を強化しようとしています。さらに、モリ・カケ・サクラに続き、東京高検黒川問題をはじめ組織的な公文書の改ざん・隠蔽・廃棄・ねつ造が横行しています。嘘とゴマカシ、民意を無視し、国会と国民を欺き、歴史を冒瀆し、国民主権や民主主義を支える土台が危機的状況に陥っています。

政府は、今年3月、新型コロナウイルスを巡る事態を「歴史的緊急事態」に指定し、この専門家会議の議論は「速記を入れて一言一句残す」と国会で答弁しました。ところが、5月になって議事録が作成されていないことが明らかになりました。まさに、国会を軽視し国民をなめている態度に、怒りと政治不信が高まっています。

「消費税の負担を減らし、休業補償、PCR検査や医療機関に対する支援など追加のコロナ対策が必要だ」として、憲法の規定に基づいて野党が求めた臨時国会について、安倍首相自ら「100年に1度の国難」との認識を示したにもかかわらず、10月以降に召集するとして拒否してきました。さらに感染拡大に歯止めがかからず、政府の対応が厳しく問われている中、説明責任を放棄し、逃げ回るという醜態を晒しつづけ、ついには病気を理由に、またしても政権を投げ出しました。

安倍政権を継続するとして登場した菅内閣は、「自助・共助・公助」で自己責任論を前面に立て、負の遺産を隠蔽し、ごまかしの政治姿勢で乗り切ろうとしています。

## 友の会運動は、労働者としての自覚

まなぶ友の会運動とは、『月刊まなぶ』読者を対象とする自主的、大衆的な学習運動の組織であり、社会主義運動、労働運動の強化をとおして、日本における社会主義社会の実現を目的とした運動である、と位置づけてきました。いわば階級闘争前進への基盤づくり、土壌づくりであり人間性回復のたたかいです。もっと平たく言えば、労働者としての自覚に目覚める運動です。労働者として生きること誇りを持てる人間になろうということです。

友の会は、趣旨に賛同する2名以上の会員で構成され、日常的に学習と相互討論にとりくむ仲間づくりの組織が、単位友の会です。したがって、単位友の会は、友の会運動の基礎組織になります。「組織づくりは人づくり」と言われています。ある意味で、どこからでも仲間づくり・組織づくりは可能です。

つまり、友の会運動とは、資本主義的常識をいっばい身につけた広範な大衆を組織するなかで、その思想を、生き方を変えていく運動と言えます。「学ぶことは闘いである」とは、こういうことです。この思いを継続発展させるためにも、家族ぐるみのたたかい、取り組みがきわめて重要です。

『月刊まなぶ』の思想的背景は、三池・安保のたたかいの中で生まれ、階級および階級闘争をまなぶ労働者の本として成長してきました。今年、三池・安保闘争60年という節目の年でもあり、『月刊まなぶ』で学習すること自体が、階級闘争を学ぶということにもつながります。

私たち、まなぶ友の会運動では、「四つの

課題を三つにまなぶ」大衆学習運動を基調としています。これを換言すれば、労働者は唯物史観と『資本論』に学び、労働者階級の歴史的使命を自覚し、科学的社会主義に不動の確信をもって生き抜く人間になろう、ということです。

## 第一学習会、内外の五人組運動を

第一学習会は、小さな団結づくりです。相互討論ができるということは、第一学習会に参加した一人ひとりが、自分の意見が言える、何でも話し合えるという条件があるかどうか、ということです。つまり、信頼関係です。

県協や地区協、単位友の会の長期方針という積み上げの運動、この上に立って一人ひとりの年間方針をつくり、具体的な運動をそれに基づいて進めていきます。この具体的な課題が、第一学習会で検証・討論されているか、信頼関係に裏打ちされた相互討論が保障されているのか、さらに、具体的に踏み込んだ討論にまでなっているのかということです。いわば、不平不満や疑問点を具体的な問題として理解しあえること、矛盾を正しく把握することが大切です。

私たちの構えは、徹頭徹尾「仲間まなぶ」という姿勢、日常活動が基本です。いわば、職場の不平・不満を言い合える人間関係づくりです。仲間の悩みや苦しみ、苦情や怒りの声を粘り強く聞くことから、具体的な信頼と課題が明らかになってきます。

『月刊まなぶ』3000部拡大運動は、資本に対する怒りを組織することです。あらためて内外の五人組運動の重要性を再認識することが求められています。

## 会員の任務は、

### 資本への怒りを組織すること

小さな渦巻きにも芯があります。大きくなればなるほど強い芯が必要です。組織的、目的意識的な運動には強い芯、主体性の強化が求められます。まなぶ友の会運動、大衆学習運動では、友の会・会員一人ひとりが、その強い芯になる任務を担うことになります。大衆学習運動の担い手です。人間的な成長です。

組織的運動とは、丁寧な総括運動を繰り返し積み上げていくことです。「方針の実践は、総括の歴史である」（灰原茂雄）と言われています。当然のこととして、方針のないところには総括もできません。正しい方針は、正しい総括から生まれてきます。これが積み上げの運動です。

問題は、会員が、会員の任務を自覚し、日常的に目的意識をもった運動や生活態度を持てるかどうかです。いわば友の会運動を自分の生き方にするということです。自分の運動であるが故に、困難をのりこえて自発的に自分の問題としてやらなくてはならない、こういう理解と認識、そういう構えが担い手の中身です。

あらためて、「会員の任務とはなにか」を再認識することが求められています。一つには、友の会運動の担い手であり、大衆学習運動の組織者であるということです。自らのたたかいでもあります。二つには、会員相互の団結づくりです。日常的な相互討論や家族ぐるみの交流をとおして、目的に向けた全国的な団結をつくることです。三つには、もう一人の仲間づくりです。拡大運動は、資本への怒りを組織する運動です。怒りは力の源泉です。ぬくもりある団結です。

三池の長期抵抗大衆路線を一言でいうならば、「たたかいの中で組織する」というこ

とだと言われています。自らがたたかいの中に身を置く構えなくしては、非常に困難な問題だと思えます。人と人とのつながりがある社会はなりたっています。信頼のないところには、組織づくりは難しいということなのです。

私たちの運動は、指令・指示の運動ではなく、真実に対する謙虚さと自己批判精神をもって、自らつくりだす運動です。「走れば回る風車」といいます。風がなければ自らが走ることです。問題は、困難な時こそ私たちの構えが問われているのです。

# 第26回全国交流集会現地実行委員会ニュース

# NO2 11月1日

# 筑波 筑波

編集・発行  
第26回全国交流集会  
現地実行委員会  
発行責任者：三宅敏之  
編集責任者：小田切博

## 現地実行委員会は現地見学を行いました

第26回全国交流集会 現地実行委員会 事務局長 小峯幹夫

### 全国交流集会の獲得目標

#### ●集会の獲得目標

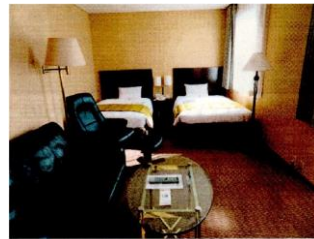
2021年5月15日(土)～16日(日)に茨城県つくば市で開催される、第26回全国交流集会の成功に向けて、以下の獲得目標(案)を掲げ、現地実行委員会を開催しました。11月31日には、現地会場の見学を行い、全国の仲間の受け入れ準備を進めています。



ホテル日航つくば つくば駅前ロータリーから



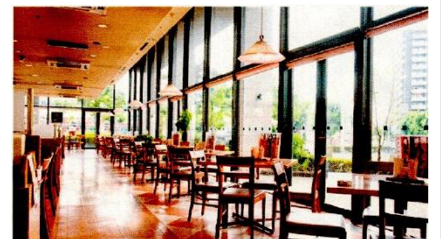
カピオホール



客室内 デラックスツイン(本館30.0㎡)



ホテルALつくば 西 表玄関側から



レストラン

**「みんなが担い手！  
それぞれが一步前へ！」**  
①開催県協だけでなく、関東ブロック全体の取り組みにすること。  
②老若男女の団結の強化で集会の成功を勝ち取ること。  
③所属友の会の第一学習会の再建・強化・発展を図り、もう一人の仲間の参加を追求すること。

#### ●悔しさをバネに

今年のはつくば市での関東ブロックチュータ養成講座こそ開催できたもののその後は、3月に入って新型コロナの感染拡大により、東京はじめ、関東各県で公共施設が使用できなくなり、3月の県代、幹事会・編集委員会、4月の関東女性講座や5月16日から17日に予定されていた第25回

全国交流集会もやむなく中止をせざるを得ませんでした。

この間、関東ブロック各県協は、創意工夫をこらした「まなぶの仲間だより」や「県協通信」等を発行し、近況を報告し合い学び合ってきました。また、LINE や ZOOM といったオンラインでの交流を通じ、顔の見える交流にも努めてきました。

#### ●第26回全国交流集会成功にむけて

新たに就任した菅総理は「自助・共助・公助」という本末転倒の政策を掲げ登場

し、東京を追加したGoTo トラベルの強行やプロ野球、Jリーグの観客拡大を謳い文句に、経済最優先政策を進めています。

私たちは、来年の第26回全国交流集会にかける思いと期待は大きいです。関東ブロックの団結と統一で茨城県での開催を成功させましょう。



## 関東ブロック各県協獲得目標

**全体会場**  
つくばカピオ  
ホー ル  
茨城県つくば市  
竹園 1-10-1  
☎029-851-2886

**ぐんま県協**  
**参加目標:10名**  
現在3友の会で会  
員数14名です。

学習会は二つです。伊勢崎地区・境町職  
合同は、コロナ禍でも継続して開催してき  
ました。『月刊まなぶ』の「苦闘する職場」  
の読み合わせ後の討論です。コロニーは中  
断されましたが、8月から復活し継続され  
ています。

県協としても会員が少ないですが、県協  
ニュースや友の会ニュースを発行し会員  
全体に活動が見えるようにしています。ま  
た、読者拡大のリストアップを毎月確認  
し、県協の発展を目指していきます。

**いばらき県協**      **参加目標 20名**

毎月一回開催されている内原、筑西地区まなぶ学  
習会に、県協四役がこれまで以上に目的意識的に参  
加する（当面の目標、筑西地区のMさんに会員にな  
ってもらうこと）。また、各友の会との関係を密にす  
るため茨城版「まなぶの仲間だより」や「県協通信」  
の定期発行に努める。

この間の市民運動で培ってきた人間関係を大切に  
し、更なる読者、会員拡大を図る。

**ア ク セ ス**  
【電車】TX つくばエクスプレ  
ス「つくば駅」下車 A3 出口  
より徒歩 10 分  
【自動車】(圏央道)  
つくば中央ICより約 15 分  
(常磐自動車道) 桜土浦 IC  
より約 15 分  
【高速バス】東京駅より  
「つくばセンター行き」  
つくばセンター下車後、  
徒歩 10 分

**さいたま県協**  
**参加目標(30人)**

- ① 年間方針に基づく、前半の中間総括を  
全国の仲間と交流し学んでこよう。
- ② 県協として全国交流集会の成功に向け  
参加にあたって『埼玉県協中間総括報  
告集』を作成し全国に発信していこう。  
集会後は、『埼玉県協感想文』を作成し  
て行きます。
- ③ 県協に結集する(15友の会)から会  
員・読者・仲間・家族・等に呼びかけ  
てもう1人の仲間と参加していこう。  
諸活動の日常の関わり仲間とのつな  
がりを含めて各友の会の第一学習会・地  
区協・班会議、討論しながら『月刊ま  
なぶ』を拡大していこう。

おめーつくばに行く準備してっか

**ちば県協**

千葉県協はコロナ禍の中で県協総会の  
成功に向けて精一杯頑張っています。全国  
交流集会の討論とはまだなっていません  
が、総会の準備を進める事と合わせて、全  
国交流集会も目標を持って、取り組めるよ  
うにしていくところです。

**かながわ県協**

神奈川県協は毎月第一水曜の運営委員  
会を軸に、横浜南部友の会、横浜東部友の  
会とも学習会、諸活動を進めています。が、  
新型コロナ感染拡大の中では、「友の会通  
信」を発信し、会員読者をつなぎ交流して  
きました。現在はカジノ反対住民投票を求  
める署名取組、ユニオンへの雇止め、派遣  
切りの労働相談急増で多忙の毎日です。全  
国交流集会の成功に向け、一人でも多くの  
仲間と参加できるよう討議中です。

**やまなし県協**      **参加目標 10名**

山梨県協は友の会7、合同学習会2です。峡東地区  
合同まなぶ学習会は、コロナ禍と農繁期の為10月16  
日に久しぶりの学習会となりました。お互い元気な  
姿を確認し11月号特集を読み合わせしました。甲府  
地区合同まなぶ学習会は、10月9日に8人の参加で  
す。10月号は三池闘争60周年特集だったので、「三  
池にまなぶ会」民泊の事、灰原茂雄さんの事など青  
年時代の思い出で話が尽きませんでした。来年の全  
国交流集会はみんなで開催しよう確認しました。

**宿泊先 ①**  
ホテル日航  
つくば  
茨城県つくば市  
吾妻 1-1364-1  
☎029-852-1112

**宿泊先 ②**  
ホテルJAL  
シティつくば  
茨城県つくば市  
竹園 2-20-1  
☎029-860-7700